

〔教育委員会 生涯学習課 所管〕

03020111 児童クラブ運営事業

予算書P. 114

(単位: 千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	207,099	181,420	25,679	
国庫支出金	30,173	30,612	△ 439	子ども・子育て支援交付金(放課後児童健全育成事業)
県支出金	30,173	30,612	△ 439	子ども・子育て支援交付金(放課後児童健全育成事業)
地方債	0	0	0	
その他	42,826	55,211	△ 12,385	児童クラブ入所負担金
一般財源	103,927	64,985	38,942	

【背景(なぜ始めたのか)】

共働き家庭が増加する中、就労支援対策として、平成4年9月仲町（現守谷小学校）児童クラブの開設をスタートに、平成5年に北守谷（現御所ヶ丘小学校）児童クラブ、平成7年に南守谷（現松ヶ丘小学校）児童クラブを開設し、平成8年度から平成12年度までの間に全小学校に児童クラブを開設した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

放課後帰宅しても、就労などにより保護者が日中家庭にいない小学生を対象に、児童の安心安全な居場所を確保し、保護者の就労を支援するとともに、児童の健全育成を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

平日の授業終了後から午後7時まで、また、土曜日、長期休業期間（春休み、夏休み、冬休み）及び学校振替休業日は午前7時30分から、小学校ごとに整備した専用室において運営している。

運営業務を民間事業者に委託し、放課後子ども教室と一体型の運営を行い、専用室内での活動に加えて、小学校の校庭・体育館・特別教室等を活用し、様々な体験活動ができる場を提供する。

令和2年度は、大野小学校、松ヶ丘小学校、黒内小学校が各1クラブ増、高野小学校が1クラブ減となり、合計28クラブを運営する。

〔運営業務委託〕 株式会社アンフィニ

〔今期委託期間〕 令和2年4月1日～令和7年3月31日 5年間



クラブ室内の様子

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	157,589	0	157,589	
国庫支出金	80,000	0	80,000	子ども・子育て支援整備交付金
県支出金	20,000	0	20,000	子ども・子育て支援整備交付金
地方債	40,000	0	40,000	黒内小学校児童クラブ建設事業債
その他	17,589	0	17,589	ふるさとづくり基金繰入金
一般財源	0	0	0	

【背景(なぜ始めたのか)】

黒内小学校児童クラブは、平成9年度に小学校の余裕教室を活用して開設後、平成24年度に学校敷地内に専用室（1棟2クラブ）を開設、更に、平成29年度には、中央公民館敷地内に専用室（1棟2クラブ）を増設したが、在校児童の増加に伴い利用者也増加傾向にあり、待機児童の発生が危惧される。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

待機児童が発生しないよう、児童の安心安全な居場所を確保するとともに、保護者の就労継続を支援するため児童クラブを建設する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

今後も利用者が増加し、現状の4クラブでは不足することが見込まれるため、中央公民館敷地内の既存クラブ西側に、令和2年度内に新たに1棟4クラブを建設し、令和3年度に開設する。

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	4,500	4,500	0	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	4,500	4,500	0	

【背景(なぜ始めたのか)】

地域活性化を目的に、県事業の「国際芸術文化交流拠点整備構想（アーカス構想）」を誘致し、平成6年度の試行を経て、平成7年度から「アーカス構想パイロット事業」、平成12年度から現在の「アーカスプロジェクト」がスタートした。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

県主催のアーカスプロジェクトに参画することにより、市民に芸術文化活動の体験機会を提供するとともに、地域の文化活動の推進と市のイメージアップを図る。

アーティストとの交流機会を提供することで、子どもたちの豊かな心と感性を育てる。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

市は負担金を支出し、もりや学びの里の施設を提供して、県、市、関係機関からなる実行委員会(事務局：県)によるアーカスプロジェクトの運営により、アーティストの招へい及び制作支援、活動発表会(レジデンスプログラム)や、一般向け、子ども向けアートイベント(地域プログラム)を開催する。

また、市内イベント活動等の運営や事業広報活動を支援する。



アートイベント(ヒビノホスピタル)



招へいアーティストの活動発表会

10040110 タベのコンサート事業

予算書P. 211

(単位: 千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	1,528	1,395	133	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	1,528	1,395	133	

【背景(なぜ始めたのか)】

平成8年度に、庁舎を活用したイベントの開催について、市役所内でアイデアを募集し、中庭やロビーを活用したコンサートの開催が提案、採用された。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

市民に身近な場所で気軽に生の音楽に触れる機会を提供する。また、市役所庁舎で開催することにより、行政を身近に感じてもらう。

音楽サークル等に演奏の場を提供するとともに、プロと同じステージに立つことで、音楽活動への意欲向上と活性化を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

8月の土曜日の夜(午後6時から2時間程度)に、合計3回コンサートを開催する。舞台の設営や音響・照明は業者に委託し、当日の受付や舞台配置などの運営は出演サークル主体の実行委員会が行う。



ステージ発表の様子(左:高校生バンド 右:コーラスサークル)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	15,310	23,395	△ 8,085	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	739	738	1	もりや学びの里使用料(一時使用分)
一般財源	14,571	22,657	△ 8,086	

【背景(なぜ始めたのか)】

旧大井沢小学校の廃校に伴い、学校施設を新たに生涯学習施設として利用するため、平成8年度に「もりや学びの里」を開設した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

世代を超えて利用できるコミュニティ施設として、市民が生涯学習や趣味活動ができる場を提供する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

廃校施設を市民の生涯学習施設としてサークル活動、研修等に活用するため、設備、機械等の管理及び保守点検や計画的な修繕等を実施する。

〔主要施設〕体育館/和室/講座研修室/音楽室/調理室/創作工芸室/バーベキュー施設

〔主な施設管理業務〕建物清掃/自家用電気設備保安管理/自動ドア保守点検/体育器具点検/消防設備点検/植栽管理/施設管理業務等



もりや学びの里バーベキュー施設

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	2,681	1,821	860	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	2,681	1,821	860	

【背景(なぜ始めたのか)】

スポーツ・文化に親しみ、県代表として全国大会等に出場する市民を奨励し、出場に係る経費の負担軽減を図るため、平成14年度に奨励金交付制度を設けた。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

スポーツ及び文化の振興を図り、市民の健康づくりと文化意識の高揚に寄与する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

「守谷市スポーツ・文化振興奨励金交付要綱」に基づき、スポーツ又は文化で全国大会出場の功績をあげた個人又は団体に対して記念品と奨励金を交付し、栄誉を讃える。
[交付対象]要綱で規定する全国大会、アジア選手権大会、世界選手権大会、オリンピック・パラリンピック等
文部科学省等が主催又は後援する全国規模以上のコンクール、国際コンクール等



スポーツ奨励金授与式にて
ハンドボールスポーツ少年団守谷クラブ



スポーツ奨励金授与式にて
トランポリン 高木裕美選手

10040122 成人式事業 予算書P. 214
(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	3,104	3,050	54	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	3,104	3,050	54	

【背景(なぜ始めたのか)】

新成人を祝い、励ますとともに、大人の社会に仲間入りすることを自覚し、郷土への関心を深める機会とするため、毎年開催している。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

新成人者を対象に、人生の節目を記念して成人式を実施し、次代の担い手として今後の活躍を願い祝福する。
祝福を受けることで、成人としての自覚を持ってもらう。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

新成人者による運営協力委員会を組織し、式典の運営や準備を行政と協働で進める。
会場設営を委託し、守谷駅から会場（常総運動公園総合体育館）まで送迎バス（往復2便）を運行する。
[開催日等] 令和3年1月10日（日）（予定）
[対象者] 平成12年4月2日～平成13年4月1日生まれの方
※参考：令和2年成人式典 対象者数690人、内出席者数583人
[内容] 第1部：成人式典、第2部：運営協力員主催イベント（予定）



はたちの主張



新成人による運営協力員

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	63,002	51,471	11,531	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	15,809	17,625	△ 1,816	放課後子供教室推進事業費補助金
地方債	0	0	0	
その他	8,959	5,143	3,816	放課後子ども教室事業保護者負担金
一般財源	38,234	28,703	9,531	

【背景(なぜ始めたのか)】

子ども達に関わる重大事件の発生など、青少年の問題行動の深刻化や地域や家庭の教育力の低下等の課題に対応し、心豊かでたくましい子どもを社会全体で育むため、地域の方々の協力を得て、平成19年度から学校等を活用するなど計画的に子ども達が安心して活動できる居場所を提供している。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

子ども達の安心安全な活動拠点（居場所）を設け、学習活動やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子ども達の社会性、自主性、創造性等の豊かな人間性を育むとともに、地域コミュニティの充実を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

放課後子ども総合プランとして、小学校の校庭・体育館・特別教室等を活用して、遊び、スポーツ・文化等の活動が体験できる場を提供する。

運営業務を民間事業者へ委託し、児童クラブと一体型の運営を行い、プランマネージャーを中心に、地域ボランティアを活用して、放課後児童支援員と連携した活動を行う。

令和2年度から、利用児童の増加に対応するため、学校との調整により、大井沢小学校、大野小学校、黒内小学校の活動室（特別教室、オープンスペース等）が増室となり、計15室で運営する。

委託事業の業務内容や運営体制をチェック・評価し、質の向上を図るため、第三者評価の実施に向けて、アドバイザー3名を依頼し、評価機関及び評価内容等の検討を行う。

[運営業務委託] 株式会社アンフィニ

[今期委託期間] 令和2年4月1日～令和7年3月31日 5年間



将棋体験教室



おもしろ理科実験教室

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	11,313	898	10,415	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	11,313	898	10,415	

【背景(なぜ始めたのか)】

文化財保護法第190条に基づき、昭和52年に守谷市文化財保護条例を制定し、先人からの優れた遺産である文化財を適切に保護・活用し、未来に伝えていくこととした。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

市内に存する有形無形の文化財を保護し、未来に伝えていくとともに、文化財愛護や郷土理解の心を育てる。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

- ・文化財保護審議会の答申に基づき、市内の文化財（未指定含む）に関する調査・評価を行い、特に価値の高いものについては指定（市、県）や記録保存等の措置を取る。
- ・指定史跡や天然記念物の維持管理を行う。
- ・埋蔵文化財の所在が見込まれる土地で土木工事等が行われる場合には、事前に試掘調査を行う。
- ・市指定文化財である「守谷城址」内の土地所有者からの申出により、土地を買い取る。（面積：約500㎡）



文化財保護週間「守谷歴史さんぽ」



守谷城址の空堀

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	126,188	119,859	6,329	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	557	547	10	公民館貸付料
一般財源	125,631	119,312	6,319	

【背景(なぜ始めたのか)】

市民のコミュニケーション及び生涯学習の場を提供するため、昭和56年に中央公民館、平成4年に郷州公民館、平成8年に高野公民館、平成11年に北守谷公民館を開館した。

平成24年度からは指定管理者制度を導入し、民間事業者が有するノウハウを活用した施設の管理運営を開始した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

多様化・高度化する市民の学習ニーズに対し、幅広い年齢層に学習機会の提供を行い、利用者が安全で快適に学習活動や趣味活動等ができる場所を提供する。

指定管理者による管理運営により、市民ニーズに効果的、効率的に対応し、民間能力の活用とサービス向上を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

指定管理者による施設の管理運営を行うとともに、適正かつ確実なサービスが提供されているか、サービスの安定的・継続的な提供が可能な状態にあるかなどを確認する月次報告に加え、現地調査、管理運営状況の評価等を行うモニタリングを実施し、必要に応じて改善に向けた指導・助言を行う。

令和2年度は郷州公民館の長寿命化に向けて劣化度調査を行い、施設・設備等改修箇所の優先順位を把握する。

[指定管理者] アクティオ株式会社・守谷市シルバー人材センター共同事業体

[今期指定期間] 令和2年4月1日～令和7年3月31日 5年間



中央公民館



郷州公民館



高野公民館



北守谷公民館

10050104 市体育協会補助事業

予算書P. 227

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	1,600	1,600	0	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	1,600	1,600	0	

【背景(なぜ始めたのか)】

市民がスポーツに親しむことができ、技術の向上、健康増進と地域の親睦・融和を図るための組織として、昭和43年に設立された「守谷市体育協会」に対する補助事業として開始した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

市民の健康増進と体力向上のため、各種運動競技の普及発展と競技力向上を目的に活動する体育協会の自主的な事業を支援し、市民交流とスポーツ活動の推進を図る。

また、市が主催するスポーツ大会やイベントへの協力など体制強化を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

補助金を交付し、各種スポーツ大会、技術講習会等の体育協会の活動を助成し、市民がスポーツ活動に参加することにより体力の向上及び健康増進を図るとともに、体育協会及び加盟団体の組織強化を支援する。

〔部会数〕 18部会（令和2年1月現在）



市民チャリティーゴルフ大会



ジュニアゴルフ教室

10050105 市スポーツ少年団補助事業

予算書P. 227

（単位：千円）

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	2,948	2,303	645	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	2,948	2,303	645	

【背景(なぜ始めたのか)】

青少年の健全育成と少年期におけるスポーツの楽しさを教えるため、昭和57年に設立された「守谷市スポーツ少年団本部」に対する補助事業として開始した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

各種競技の普及・発展、競技力向上と各少年団間の交流を目的に活動するスポーツ少年団本部の自主的な事業を支援し、青少年健全育成と児童の体力向上に寄与する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

補助金を交付し、スポーツ少年団が部会単位で開催する、各種スポーツ大会、技術講習会等の運営費を助成する。また、守谷市の代表として出場する全国大会等遠征費を助成する。

守谷市スポーツ少年団の交流会を実施することで、各单位団の交流を深め、親睦を図るとともに、子ども達の体力、精神面の健全な発達と集団の中での協調性を養う。

〔スポーツ少年団数〕 25単位団（令和2年1月現在）



守谷市スポーツ少年団交流会



県南取手ブロック交流会
ヘルシーボール大会

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	3,000	3,000	0	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	3,000	3,000	0	

【背景(なぜ始めたのか)】

マラソンを通じて市民相互の交流と、市の知名度向上を図るため、昭和59年から実施している大会に対する補助事業として開始した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

「守谷ハーフマラソン」への参加により、幅広い年齢層の人々に健康増進をもたらすとともに、全国からの参加者に守谷市の素晴らしさをPRする。

また、大会運営に多くのボランティアが参加しており、市民相互の交流を深める機会になっている。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

大会は守谷市体育協会が主催し、市からの補助金の他、参加費及び企業協賛等により実施している。毎年2月上旬に開催しており、ハーフマラソン・5km・3km・2kmの男女年代別の種目を設定し健脚を競い合う。

ハーフマラソンは、日本陸上競技連盟公認コースで茨城陸上競技協会の公認大会となっている。

大会運営の係員は約800名で、体育協会会員や市民ボランティア等の協力を得ている。



ハーフマラソンの部スタート



給水所

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	1,306	1,304	2	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	1,306	1,304	2	

【背景(なぜ始めたのか)】

日本最高峰の富士登山にチャレンジすることで、青少年の健全育成とスポーツ振興を図るため、市内中学生を対象に昭和61年度から実施している。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

中学生が日本最高峰である富士山に登山することにより自然の素晴らしさを知り、仲間と協力し合うことの大切さを学ぶ。また、団体行動を通して、社会の一員としての自覚を養う。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

市内在住の中学生と指導者が、15人ほどの班編成により相互協力し、1泊2日で富士山頂を目指す。

〔実施日〕 令和2年7月30日（木）～31日（金）

〔対象者〕 市内在住の中学生90名

〔指導者〕 市体育協会、市スポーツ推進委員、市内中学校教員、市職員等31名



第34回守谷市中学生富士登山
富士山頂での集合写真

10050112 スポーツフェスティバル開催事業

予算書P. 228

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	1,081	1,011	70	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	32	60	△ 28	スポーツフェスティバル参加料
一般財源	1,049	951	98	

【背景(なぜ始めたのか)】

平成22年度から平成27年度まで3つの事業（健康福祉まつり・スポーツフェスティバル・老人スポーツ大会）を統合し、「健康スポーツフェスティバル」を開催したが、目的・対象の方向性の相違や、日程調整の困難さ等から、平成28年度からはスポーツを始めるきっかけづくりとなる体験コーナーを中心に単独での開催となった。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

子どもから高齢者まで誰もが気軽にスポーツに親しむきっかけづくりと、継続的なスポーツ・レクリエーション活動の実施により、市民の健康増進と体力向上を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

市民がさまざまなスポーツにふれ、初めての来場者でも気軽に参加でき、楽しむことができるイベントを開催する。

〔開催日等〕 令和2年10月25日（日）常総運動公園（予定）

〔内容〕 小・中学校対校親善リレー、輪投げ、キックターゲット、グラウンドゴルフ体験、健康ウォーキング教室、サイクルトリアル、エクササイズ教室、プール無料開放、ポニー乗馬体験、ボッチャ交流体験、ミニSL乗車体験ほか（予定）



ハンドボールシュート体験



ボッチャ交流体験